

国語	学習に関する児童の実態・課題	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善の方策
6 年	<p>【実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の結果を元にとすると、一部の問題を除いて、全国・東京都平均値を下回っていることが分かる。 例：米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する【問題1一】→12.3% 問題の後半の無回答率が高い。 例：寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く【問題3二】→22.8% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を基の条件を満たした答えを選択すること。 条件を基に記述する問題。 既習漢字の活用。同音異義語に関して。 設問の意図を理解すること。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> すすんで文章の中で既習漢字を使用する力。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くこと：自分の考えを明確に表現するため、文章構成や事実と感想、意見などを区別して詳しく書く力。 文学的な文章では、直接的に描写されている登場人物の心情及び登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている心情を捉える力。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの立場や考えを尊重し適切に表現し伝え合う力。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書を使用して、文章中で既習漢字を書かせる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くこと：簡単な構成メモを作り、身近な出来事や経験などの事情や背景を想像したり推測したりして、事実と自分の考えを区別して記述したり説明したりし、友達と読み合う活動を取り入れる。 文学的な文章では、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などが想像される叙述にサイドラインを引き、確認しながら読むようにさせる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをすすんで伝え合う活動を取り入れる。
6 年 1 組	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲既習事項の漢字の習得に差があり、その漢字を使用することに課題がある。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書くこと：筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考慮することができる。 ▲読むこと：問われた課題に、叙述を基にして答えや考えを出すことができる児童が7割程度である。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○言語を獲得することや語彙を豊かにすることに積極的である ○読書好きが多く、文学的な本にも興味をもつ児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生までの漢字の確実な理解と文章中で使用する力。 基本的な文の構成や展開 文を読み理解する力。 発問に正対して答えたり考えたりすることができる力。 目的に応じ、順序やまとまりを考えて情報を整理し、自分の思いや考えを適切な言葉で表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト前にも復習としてミニ漢字テストを行う。 書くことについては、構成を理解し、思考ツール等を用いて、はじめ、中、終わりをスモールステップで書き上げていく。 読み物教材では、発問についての答え方を押さえたり、答えた部分の叙述を確認したりして進めていく。
6 年 2 組	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲漢字50問テストの平均80点以上としつつ、最下位40点台と漢字の習熟に差がある。漢字の学習に意欲的に取り組んでいるが、文章の中で既習漢字を使用することに課題がある。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書くこと：筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考慮することができる。 ▲読むこと：文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○言語を獲得することや語彙を豊かにすることに積極的である ▲進んで読書をしようとする児童が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生までの漢字の確実な理解と文章中で使用する力。 基本的な文の構成や展開 文の書き出しや結びの工夫 目的に応じ、順序やまとまりを考えて情報を整理し、自分の思いや考えを適切な言葉で表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で読んで考えることのできる力を付ける。 読むことの単元を書くことの単元につなげる。 日常的な読書機会の提供（玉川タイム）

算数	学習に関する児童の実態・課題	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善の方策
6年	<p>【実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果を元にとると全体的に全国・東京都平均値を下回っている。 ・A「数と計算」（65%）、C「変化と関係」（69%）、D「データの活用」（62%）においては6割以上の児童が理解を示している。 例：3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する【問題3（2）】→11.6% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示されている条件を基に説明すること。 ・図形に関する問題に課題がある。 ・問題の後半になると、文章や情報が多く、正しく情報を処理して答えることが難しい。→無回答率が高くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などの理解。 ・日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力。 ・問題解決などにおいて、より良いものを求め続けようとし、抽象的に表現されたことを具体的に表現しようとしたり、表現されたことをより一般的に表現しようとするなど、多面的に考えようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問や問いの気付き生かす指導をする。 ・問題の理解、解決の計画を具体的に立てる。 ・解決の実行を正確にする。 ・解決結果や結果の振り返りを確実にやる。
6年 1組	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲文章を読みとって正しく立式をすること。 ▲図形や立体の面積を求めること。 ▲単位換算 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲文章や情報量が多い時に、正しく情報を処理すること。 ▲いくつか立式して答えを導き出すこと <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正解するまで粘り強く取り組める児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などの理解。 ・問われていることの意味と、それに正対した立式する力。 ・分数、小数の四則計算を正確にする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えにたどり着いた道筋を大切にできるように指導する。ノートに書いたメモを消さないように指導する。 ・児童同士で互いの考えを知り、自分の考えを深め合う機会を作る。 ・複雑な内容の時は、数字を簡単にし、既習事項として捉えて、自分の考えをもてるようにする。
6年 2組	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲文章を読みとって正しく立式をすること。 ▲図形の面積を求めること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲文章や情報量が多い時に、正しく情報を処理すること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲苦手意識がある学習のときに消極的な児童が多い。 ○新しい学習内容について、意欲的に取り組める児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などの理解。 ・日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力。 ・問題解決などにおいて、よりよいものを求め続けようとし、抽象的に表現されたことを具体的に表現しようとしたり、表現されたことをより一般的に表現しようとするなど、多面的に考えようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問や問いの気付き ・問題の理解、解決の計画 ・解決の実行 ・解決結果や結果の振り返り 以上のことを実践していく。